



Contribution ID: 114

Type: ラウンドテーブル / Round Table

さまざまな分野における STACK の活用 / Using STACK in Multiple Disciplines

Sunday, 1 March 2026 16:00 (1 hour)

STACK は数式の自動採点システムであり、数学教育はもとより、数式を使用する STEM 教育分野で広く使用可能である。また、ランダム変数を用いた条件設定、ポテンシャルレスポンスツリーを用いた多段階の正誤判定が可能であることに加え、日本語を含む文字列入力やパターンマッチング、グラフの描画や動的幾何ソフトとの連携も可能であることから、より広範な小テストの作題・採点への応用も期待できる。本ラウンドテーブルでは、数学、物理、化学、生物、データサイエンス等における STACK の活用事例を紹介した後、さまざまな分野において高度な小テストを効果的、効率的に作成する手法や展望について、参加者間で共有・議論する。可能であれば、STACK API による小テスト以外の教材における STACK の活用についても検討したい。

発表日の希望 / Preferred Day

いずれの日でも結構です / Either day is fine

MAJ R&D Grant

いいえ

Authors: SAITO (斉藤), Jun (準) (Obihiro University of Agric. & Vet. Med. (帯広畜産大学)); NAKAMURA, Yasuyuki; FUJIMOTO (藤本), Shigeo (茂雄); NAKAHARA, Takahiro

Presenters: SAITO (斉藤), Jun (準) (Obihiro University of Agric. & Vet. Med. (帯広畜産大学)); NAKAMURA, Yasuyuki; FUJIMOTO (藤本), Shigeo (茂雄); NAKAHARA, Takahiro

Session Classification: SUN AFTERNOON ROOM C

Track Classification: 授業実践と教材開発 / Practices and Materials in Classroom